

平成27年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヒップ

 コード番号 2136 URL <http://www.hip-pro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 吉武

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長

(氏名) 財津 秀明

TEL 045-328-1000

四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,169	12.5	48		47		29	
26年3月期第1四半期	1,038		44		36		23	

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 30百万円 (%) 26年3月期第1四半期 23百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	7.30	
26年3月期第1四半期	5.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	3,096	1,394	45.0	350.85
26年3月期	3,069	1,411	46.0	355.16

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,394百万円 26年3月期 1,411百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期		0.00		12.00	12.00
27年3月期					
27年3月期(予想)		0.00		12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,306	7.1	69		68		40		10.06
通期	4,694	5.8	197	31.6	195	17.3	114	29.2	28.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	3,975,300 株	26年3月期	3,975,300 株
27年3月期1Q	59 株	26年3月期	59 株
27年3月期1Q	3,975,241 株	26年3月期1Q	3,975,300 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご確認ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税の反動により一時的な弱まりを見せるものの、大きな落ち込みもなく引き続き緩やかな回復基調で推移しております。

このような状況のなか、当社グループの中核事業であるアウトソーシング事業においては、主要顧客であるメーカーからの技術者ニーズが引き続き堅調に推移しており、稼働率の向上及び技術料金の改善を中心とした積極的な営業施策を実施し、特に輸送用機器関連及び情報処理関連への展開が進みました。また、5月には新たな採用体制を構築し、旺盛な技術者ニーズに応えるべく、積極的な人材の確保を推進いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間における稼働率は、92.6%（稼働率(%) = 稼働技術者数/技術社員総数 × 100であり、期間の月末人数を累計した数値により算出しております。）となりました。技術料金につきましては、新卒技術者の稼働による押し下げ要因もありますが、技術料金の改善を推進し上昇しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,169百万円（前年同期比12.5%増）、売上原価は944百万円（同5.1%増）、販売費及び一般管理費は177百万円（同4.3%減）、営業利益は48百万円（前年同期営業損失44百万円）、経常利益は47百万円（前年同期経常損失36百万円）、四半期純利益は29百万円（前年同期四半期純損失23百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

アウトソーシング事業

当社の主要事業であるアウトソーシング事業におきましては、旺盛な顧客ニーズに対し、積極的な技術マッチングを推進した結果、稼働人員が増加し高い稼働率を維持いたしました。また、技術料金の改善も継続的に推進し、技術料金は上昇いたしました。その結果、売上高は1,079百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は29百万円（前年同期営業損失14百万円）となりました。

S M O事業

S M O事業におきましては、得意とする皮膚科領域と精神科領域での治験支援業務が順調に進みました。その結果、売上高は89百万円（前年同期比235.5%増）、営業利益21百万円（前年同期営業損失26百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は3,096百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円の増加となりました。

流動資産は1,503百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円増加しております。

主な要因といたしましては、受取手形及び売掛金が48百万円増加し、仕掛品が10百万円減少したことによるものであります。

固定資産は1,593百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、子会社コスメックスのラボ返却に伴う敷金保証金の返金等により、投資その他の資産が8百万円減少したことによるものであります。

負債合計は1,701百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、夏季賞与分の社会保険料支払等に伴う流動負債が46百万円増加したことによるものであります。

純資産は1,394百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円と減少となりました。主な要因といたしましては、四半期純利益29百万円及び前期配当金支払い147百万円により、利益剰余金が18百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年5月13日付「平成26年3月期決算短信(連結)」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法に変更しております。

これに伴う当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金及び当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	710,113	706,630
受取手形及び売掛金	598,564	646,727
仕掛品	29,562	18,938
繰延税金資産	86,872	86,872
その他	35,373	43,958
流動資産合計	1,460,486	1,503,127
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	512,427	492,206
減価償却累計額	159,822	143,259
建物及び構築物(純額)	352,604	348,946
車両運搬具	6,577	6,577
減価償却累計額	6,577	6,577
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	57,097	39,719
減価償却累計額	52,299	35,455
工具、器具及び備品(純額)	4,798	4,263
土地	968,059	968,059
有形固定資産合計	1,325,462	1,321,270
無形固定資産		
のれん	119,357	116,041
その他	3,253	3,105
無形固定資産合計	122,611	119,147
投資その他の資産		
投資有価証券	7,004	7,004
繰延税金資産	95,735	94,911
その他	60,397	52,689
貸倒引当金	1,800	1,800
投資その他の資産合計	161,338	152,805
固定資産合計	1,609,411	1,593,223
資産合計	3,069,897	3,096,351

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	660,000	660,000
未払費用	304,068	340,202
未払法人税等	29,865	19,425
賞与引当金	201,841	116,159
その他	96,430	202,481
流動負債合計	1,292,205	1,338,269
固定負債		
退職給付に係る負債	259,136	265,930
役員退職慰労引当金	106,708	97,441
固定負債合計	365,844	363,372
負債合計	1,658,050	1,701,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	377,525	377,525
資本剰余金	337,525	337,525
利益剰余金	726,527	707,859
自己株式	23	23
株主資本合計	1,441,553	1,422,886
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	29,706	28,176
その他の包括利益累計額合計	29,706	28,176
純資産合計	1,411,847	1,394,710
負債純資産合計	3,069,897	3,096,351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,038,887	1,169,220
売上原価	898,345	944,108
売上総利益	140,542	225,112
販売費及び一般管理費		
役員報酬	22,821	23,787
給料及び賞与	68,955	69,678
賞与引当金繰入額	8,014	7,489
退職給付費用	509	863
役員退職慰労引当金繰入額	2,466	2,474
法定福利費	12,493	12,626
採用費	8,762	5,917
旅費及び交通費	3,432	3,191
支払手数料	22,402	18,737
地代家賃	12,176	12,176
減価償却費	1,057	975
のれん償却額	3,315	3,315
その他	18,475	15,771
販売費及び一般管理費合計	184,883	177,004
営業利益又は営業損失()	44,341	48,107
営業外収益		
受取利息	144	94
受取配当金	50	50
受取手数料	455	445
助成金収入	9,632	-
未払配当金除斥益	-	396
その他	68	55
営業外収益合計	10,351	1,041
営業外費用		
支払利息	1,672	1,402
支払手数料	500	-
その他	0	4
営業外費用合計	2,172	1,406
経常利益又は経常損失()	36,163	47,742
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失()	36,163	47,742
法人税等	12,354	18,707
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失()	23,808	29,035
四半期純利益又は四半期純損失()	23,808	29,035

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失()	23,808	29,035
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	-	1,530
その他の包括利益合計	-	1,530
四半期包括利益	23,808	30,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,808	30,565
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アウトソーシ ング事業	S M O 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,012,130	26,756	1,038,887	-	1,038,887
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,012,130	26,756	1,038,887	-	1,038,887
セグメント損失()	14,449	26,733	41,183	3,158	44,341

(注)1.セグメント損失()の調整額 3,158千円は、セグメント間取引消去157千円、のれん償却額 3,315千円であります。

2.セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アウトソーシ ング事業	S M O 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,079,459	89,761	1,169,220	-	1,169,220
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,079,459	89,761	1,169,220	-	1,169,220
セグメント利益	29,682	21,774	51,456	3,348	48,107

(注)1.セグメント利益の調整額 3,348千円は、セグメント間取引消去 33千円、のれん償却額 3,315千円であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。